



「女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦」

第24回

埼玉労働局長(阿部充)の企業トップ訪問



ポジティブアクション普及促進マーク

「きらら」

## 訪問企業:株式会社 JTB 関東

〈訪問企業のプロフィール〉

株式会社 JTB 関東 (さいたま市中央区新都心 11-2 ランド・アक्स・タワー 16F)  
代表取締役 今枝 敦

主な事業: 旅行業

労働者数: 約 900 名 (うち女性 約 5 割)

平成 26 年 7 月 31 日、株式会社 JTB 関東の今枝社長をお訪ねしました。  
総務人事チームの鈴木マネージャーの同席によりお話をお伺いしました。



左より、(株)JTB 関東 今枝社長、阿部局長

## この企業のここに注目!

- ・女性の役職者登用を上げることがグループ全体で方針に!
- ・悩む女性社員に目標となる先輩女性を…
- ・子育て中の女性も第一線で活躍! 制度だけではなくしっかり運用を!

## 国内外・グループ全体で女性が活躍中



JTB グループ全体で、2020 年のビジョンとして、旅行市場で「圧倒的アジア No. 1」に向け、取り組んでいます。JTB としては、いろいろな経験を積ませた方がいいと考え、20 代位の若手から海外に行かせており、JTB 関東からも多くの社員を派遣していますが、その中には女性も多くいます。チャレンジ精神旺盛で、海外に行きたいと希望するのは、女性社員の方が圧倒的に多いです。最近の女性の新入社員は、とても語学力が高く、海外でも即戦力として活躍しています。

活躍する一方、現在弊社では、女性のマネージャーもいるものの役職者の登用が 27% の状況で、役員にはまだ女性がいません。グループ本社からも、女性の役職者登用を進めるよう指示が出ているところです。今ちょうど店長やマネージャー職の女性社員がおりますが、まだ 40 歳そこそこですので、これから役員の候補になっていくと思います。

## 妊娠・出産・育児と進む中でのキャリアパスを!

優秀な女性社員が多く、妊娠中、産休・育休取得中の女性も 25 名位と、妊娠・出産・育児を越えて継続勤務されている人がほとんどという状況ですが、特に営業職の場合は、そこに至る前に一度少し悩むことがあるようです。そこで、すでにお子さんがいて、バリバリ営業をやって、現在マネージャーになっているグループ会社の方に講師をやってもらい、研修を実施しました。女性社員が、自分が結婚して出産してその後どのような形で復職して、どのような形で活躍していくのかという、キャリアパスのようなものを生の声で聴くことができる

という研修です。

このような取り組みをする中で、結婚したら辞めると思う人も少なくなってきたと思います。さらに活躍する女性が出てくれば、その女性が、営業職をしている若手女性社員の目標となるのではないかと思います。

## **働き方をうまくサポートして…**

当社には時短の制度などもありますが、まだまだ浸透しきっていない部分もあります。一番忙しい時間帯に時短だからといっても帰りづらいということがあるようです。そのあたりは周りがサポートしなければならない。そういった意識を全社員で持てるようにしなければならないと思っています。

今年2月に副支店長になった女性社員がいますが、その社員も家庭を持っていますが、自分である程度仕事に段取りをつけてやっているようです。経験を積めば、営業職の方が時間をコントロールしやすいようですね。

## **労働局長からのエール**

局長より「現在、仕事と家庭の両立をしている女性は、仕事・家事・育児を、とても段取りよくやっているといます。育児は、子どもを放っておくわけにはいきませんから、一日のスケジュールを段取りよくやる必要があります。男性も短くてもいいから育児休業を取って子育てを経験すると、時間管理がうまくなると思います。皆が、仕事を覚えるときは仕事に没頭する時期があり、少し家庭を優先したい時期があり、戻ってきて仕事と家庭を両立させる時期があるということを人生の中でうまく考えていけるようになるといいですね。」とエールを送りました。



国内のみならず、アジア・世界へと活躍の場が広がっている同社。既に多くの女性が活躍されていますが、妊娠・出産後も第一線で働き、さらに管理職となり、後輩たちの指針となる女性が増え、一層の女性の活躍が広がることを期待しています。